

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 139	提案機関名 神奈川県環境農政局水・緑部森林再生課
要望問題名 森林行政の基礎資料となる森林資源データ等森林GISの充実及び精度向上について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 森林GISのデータは昭和54年度からデータ整備を行い昭和61年度から林政情報システムとして運用している。以来、把握できた現況変化を反映して毎年度、データを修正してきたが、当初整備から相当の年月が経過しており、次のような課題が明らかになっている。 ・データ修正が林況の変化に対応できず、現地とデータの乖離が増加。特に、ゾーニングデータ、法規制、所有形態等及びこれらに関連する森林機能区分などのデータの信頼性が低い。 ・近年、国土地理院等他機関で高精度のデータを作成しているが、これらを活用できていない。 ・コンピュータの性能が向上しているなか、データの基本設計が古いため、処理効率が悪い。 ・かつてはほとんど存在していなかった80年生以上の高齢級林分の資源量把握が出来ていない。 これらの課題の解決を含め、森林行政の質向上と効率化につながる森林GISの改善策について、技術的指導を要望したい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	自然環境保全センター	担当部所	研究連携課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合) 水源環境保全・再生施策の総合評価		
対応の内容等	<p>平成25年度から、神奈川県森林部門が整備した空中写真、デジタル地形図、事業実績、モニタリングデータや、環境省の植生図や国土交通省(旧国土庁)の地質図、土壌図などを「水源林管理 GIS システム」に統合する作業を進めています。</p> <p>相模川以西では、水源の森林づくりエリアを始め、国有林、森林農地整備センターの分収林、県有林、承継分収林が多く存在しています。水源林、県有林、承継分収林では個々に GIS を活用して森林資源の管理をしています。次期地域森林計画の編成時までには、神奈川県全体の森林 GIS をどのように進化させていくかは、一研究部門の課題ではなく、森林にかかわる行政全般の課題であると認識しています。</p> <p>高齢級林分の資源把握の問題を含めた森林資源管理手法について、水源環境保全・再生の観点のもとより、県産木材の有効活用の観点、地球温暖化防止の観点、行政のスリム化の観点など様々な要素の議論を進めていく必要があると思います。自然環境保全センターの研究部門としても、GIS を活用した調査研究を進めてきた実績を踏まえて、行政部門が行う検討の議論に参加していきたいと考えております。</p>		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			